

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生理学実習 (作業療法学科中心)		必修 (作) 選択 (福)	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子 他	C303	naoko.inaba	水曜日 13:00~15:00 Teams 受付を原則とする		
授業の目的・概要	「生理学」及び「生理学演習」で得た知識をもとに、それらに関連する実験演習を行い、その結果をまとめて考察する。本科目の目的は、実験演習を通じて生理学全般における理解を深め、考える能力を身につけるとともに、実験レポートの作成方法および発表方法を習得することである。本科目は Teams を使った同時双方向型授業 (少人数グループワーク形式による TBL (チーム基盤型学習) および反転授業) 形式で実施する。				
学習上の助言	「生理学」および「生理学演習」で学習した内容を事前に復習しておくことが望ましい。実習課題についてどのような結果が予想されるか事前に考えてから実験に臨むこと。実験結果が予想と異なった場合は、なぜそのような結果になったのかを各自でしっかり考察すること。予習・復習で疑問が生じた場合は、Teams などを通じて随時質問し、早めに解決すること。				
教科書	生理学実習 NAVI 改訂版 /著:大橋敦子 他 /医歯薬出版株式会社				
参考書	生理学 第3版 /著:内田さえ 他 /編:東洋療法学校協会 /医歯薬出版株式会社				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	実習の手順を理解し、目的に沿って実行できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
②	実習で得られた結果を考察し、人体機能のメカニズムを説明できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
③	実習内容をレポートとしてまとめ、定められた期日までに提出できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
④	実習で得られた結果・考察・設問回答をグループでまとめ、他者に説明・発表できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1・2	オリエンテーション 実習内容の概要説明およびグループ分け等	同時双方向型授業 少人数グループワーク形式による TBL (チーム基盤型学習) を行い、グループごとに反転授業形式で成果発表を実施する	教科書に書かれているレポートの書き方を予習する。	2	
3・4	講義 (循環) 実習の概要および実習手順をまとめ、予想される結果について議論し、発表する		予習として「生理学演習」の関連項目 (循環) の学習内容を確認する。 講義の内容を復習する。	2	
5・6	実験演習 (循環) 実験演習を実施し、得られたデータと予想した結果をもとにレポートを作成し、成果発表の準備をする		学習内容の確認・復習を行う。 レポート作成および成果発表の準備をする。	2	
7・8	成果発表会 (循環) 作成したレポートをもとに、成果を発表する		「生理学演習」の関連項目 (循環) の学習内容を再度復習する。	2	
9・10	講義 (筋電図) 実習の概要および実習手順をまとめ、予想される結果について議論し、発表する		予習として「生理学」の関連項目 (神経・筋・運動) の学習内容を確認する。 講義の内容を復習する。	2	
11・12	実験演習 (筋電図) 実験演習を実施し、得られたデータと予想した結果をもとにレポートを作成し、成果発表の準備をする		学習内容の確認・復習を行う。 レポート作成および成果発表の準備をする。	2	

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間（時間）				
13・14	成果発表会（筋電図） 作成したレポートをもとに、成果を発表する	同時双方向型授業 少人数グループワーク形式によるTBL（チーム基盤型学習）を行い、グループごとに反転授業形式で成果発表を実施する	「生理学」の関連項目（神経・筋・運動）の学習内容を再度復習する。		2		
15・16	講義（心電図） 実習の概要および実習手順をまとめ、予想される結果について議論し、発表する		予習として「生理学演習」の関連項目（心臓・心電図）の学習内容を確認する。 講義の内容を復習する。		2		
17・18	実験演習（心電図） 実験演習を実施し、得られたデータと予想した結果をもとにレポートを作成し、成果発表の準備をする		学習内容の確認・復習を行う。 レポート作成および成果発表の準備をする。		2		
19・20	成果発表会（心電図） 作成したレポートをもとに、成果を発表する		「生理学演習」の関連項目（心臓・心電図）の学習内容を再度復習する。		2		
21・22	追試実験 これまでの実習内容について復習し、その反省点を踏まえ、選択した実験課題について追試実験を実施する		学習内容の確認・復習		2		
23	これまでの学習の総括		学習内容の確認・復習		2		
達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	100	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	25	0	0	25
	思考・推論・創造する力	0	0	25	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

評価方法		行動目標		評価のポイント	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
成果発表	①		✓	グループごとに実施した実験内容についてまとめ、互いに成果を発表する。その発表内容について、グループワークに関するルーブリックに基づき学生同士の相互評価を実施する。評価割合はグループ評価 50%、個人評価 50%とし、本科目の学習達成度と合わせて教員が判断する。	学生同士の相互評価の結果を提示する	
	②		✓			
	③		✓			
	④		✓			
	⑤					
	⑥					
ポートフォリオ	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
その他	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					

備 考

本科目は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。

グループメンバー全員で力を合わせ、授業時間内に課題をまとめることができるように心がけること。

やむを得ず実習を欠席する際は、必ず事前に教員およびグループメンバーに連絡をすること。

担当教員：◎稲場直子、宇賀美奈子

宇賀の研究室：B302、電子メール ID：m.uga、オフィスアワー：原則として Teams 上で質問を受け付ける。

実践的授業の内容：教員は、システム神経生理学分野で 20 年以上研究を続けてきている。その専門性を生かして学生に「根拠に基づく医療」の実践に必要な生理学全般の基礎知識および論理的思考力を教授する。

本科目では少人数グループワーク形式による TBL（チーム基盤型学習）を実施し、学生が反転授業形式で相互に学習成果を発表する。これらの経験を通し、学生に他者に説明できる能力を身に付けさせるとともに、他者と協力して目標を達成する能力を養わせる。